

不整脈の患者さんの注意点

不整脈で薬を飲んでいる患者さんに確認すること

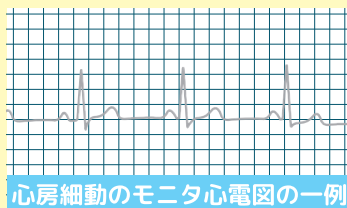
「心房細動」で抗凝固療法を行っているか確認する

脈拍数、血圧がコントロールされていれば、バイタルサインを見ながら歯科治療 OK

脈拍数 150 回 / 分以上（頻脈）
50 回 / 分以下（徐脈）は避ける

この疾患の解説

不整脈で圧倒的に多いのが「心房細動」です。脈に触れるかパルスオキシメータをつけると脈不整がわかります。



心房細動のモニタ心電図の一例



注意しようね！

不整脈でペースメーカー治療の患者さんが使用してはならない装置や機器

使ってはいけない歯科用機器

① 超音波スケーラー（歯石を除去する機器）

ペースメーカー装置患者さんには禁止されているためエアスケーラー（歯石を除去する機器）を使用します。

② 電気メス（歯茎の炎症の除去）

電気メスは歯科用の機器であっても誤作動を起こすことがあるため、電気メス使用時にペースメーカー業者にペースメーカーのリズムを固定レートに設定してもらいます。

使用時に注意が必要な機器

① 歯科用ユニット

使用中に異常が見られた場合はすぐにユニットの電源を切ります。

② 根管長測定器（根っこの治療機器）

最近のペースメーカーは根管長測定器の誤作動が生じた報告はありませんが、やむを得ず、本製品を用いて根管長測定を行う場合は、植込み型心臓ペースメーカーなどを参照して確認します。

